

編纂後記

當社沿革史編纂の下命を受けてから足掛け五年になる。着手當初の方針としては、舊東横電鐵を主體とすべく、その前身であつた武藏電鐵から起稿すると共に、武藏國及び沿線町村の歴史地理の沿革をも掲載する豫定で殆んど一箇年はそれに没頭し、未定稿として社誌清和へも連載したが、後に至り、ある事情の爲め、目蒲電鐵が舊東横電鐵を併合し商號を東京横濱電鐵株式會社と改稱したので、在來の編纂形態の内容を換へねばならなくなり、原稿數もずつと増加したので、已むなく歴史地理の記事は全部省くことゝした。

○

編纂期間は四箇年の豫定であつたが、その間、皇紀二千六百年祝典を目標に各方面から記念沿革史の出版が続々と行はれ、我が社としても何とか間に合はせたいと焦慮したものの、遂に果し得ず終つた。

稿を續けてゐる間支那事變が益々擴大され、到へ第二次歐洲戰亂が勃發し、世界情勢は混沌としてその歸趨を知るべくもなくなつてきたに不拘、我が社の發展は實に目覺しいものであつた。

新會社の創立又は他會社の買收、併合、傍系會社の内容充實に伴ふ事業の積極化或は役員の移動等が絶えず行はれ、原稿の追加、書き直しを矢継ぎ早にせねばならなくなつて來た。さうした關係から、社長、専務からは再三の督勵があつたものゝ遅延し遂に今日に至つたが、各部課からの懇切な援助と指導とを賜はつたのでどうにか脱稿し得た。

○

今本文其他全部の校正を了し、茲に編纂者としての餘白を汚すにあたり、謹而、皇國の隆盛と我が社の彌榮とを祈願し、併せて重役諸公竝に同僚諸氏の不斷の御鞭撻と深甚なる御厚情に對し滿腔の謝意を表するものである。

尙ほ本誌に關する一切の責は編纂者の負ふべきものたることを附記して置く。

昭和十八年一月十五日

編 者 識

昭和十八年三月二十日印刷
昭和十八年三月二十五日發行

【非賣品】

東京急行電鐵株式會社
編纂兼發行 杉本寬一

印刷者 東京都京橋區靈岸島二丁目二番地
伊坂一夫

印刷所 東京都京橋區靈岸島二丁目二番地
會社 伊坂印刷所

發行所 東京都澁谷區大和田町一番地
東京急行電鐵株式會社

不許複製製